



農 委 だ よ り
常 総

平成25年1月1日発行
第 14 号

〒303-8501

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3

電話 0297-23-9013・9018(直通)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



当農委だより編集委員会では、正月用しめ縄作りにチャレンジしました。相山農業委員の指導のもと、わらで縄を編むのは初めてなばかりで、ほとんどの方が苦戦していました。「しめ縄を作ってみると正月を実感する」とうれい声が聞かれました。

年頭のごあいさつ



農業委員会 会長
倉持 創一

新年明けましておめでとうござ
います。皆様方には希望に満ちた
新年をお迎えのことお慶び申し上
げます。

また、昨年中は大変お世話にな
りました。改めまして厚くお礼申
しあげます。

さて、昨年は東日本大震災福島
原発に伴う風評被害に悩ませられ
た一年でもありました。又、政治
経済においても混迷の年であった
と思います。特に我々農業者とし
て重要なTPP問題、これこそ絶
対に阻止していかねければなりま
せん。

当農業委員会としても、委員一
人ひとり、さらに事務局も一丸と
なって、この難局に農業者唯一の
代表機関として、一生懸命頑張っ
てまいります。どうか今後とも皆
様方のご支援とご協力を賜ります
ようよろしく願います。

最後に今年こそは良き年であり
ますようご祈念申し上げ、新年の
あいさつといたします。

本年もよろしく
お願いいたします

農業委員

(議席順)

- 喜見山 明
草間 正 詔
渡辺 勝 一
菊田 政 光
田村 匡 史
相山 とし子
増田 亮
松崎 信太郎
岡野 孝 一
内海 浩 之
坂入 浩 武
菊地 義 男
門井 泰 貢
倉持 仍 仁
山野 喜 勇
和田 喜 仁
川田 静 枝
大山 榮 市
石塚 寛 一
秋田 文 男
古谷 ミチ子
橋本 武 夫
横島 文 雄
鈴木 将 之
倉金 一 廣
倉持 創 一

地域の担い手

豊田地区
安田和伸さん

私の家は稲作を中心に野菜も生産しています。前職では営農関係の仕事で、私と同年代の農業者が活躍する姿を見て憧れ、就農を決めて2年がたちました。アドバイスする側から実践する側になり農業の難しさを知りました。

農産物は、土壌・天候に大きく影響され、肥培管理でも品質・収量が変わり、作物は口もきかないし、思ったように品物ができません。消費者は良い物が出来てあたり前なので、作物を見る目を養い、良い資材を選定し、作業適期・収穫時期を逃さない事が大事だと思っています。理屈では分かっているも農業現場ではまだ素人も同然で日々勉強だと思っています。

ここ数年、肥料・資材・燃料価格等農業生産に関する全ての物が値上がりしています。その反面、米価が低迷しています。その対策として、作業・収穫時期を逃さないで収穫増を目指す的規模拡大、農機具の有効活用、愛護し長持

紹介農業委員 (門井委員)

農は食の文化、人間の原点でもある農業経営を家族一丸となって始めたばかりの安田さんです。



ちさせる事で経費の削減を図り、情報化社会の波に乗り、生産から販売までを手掛け、T P P問題をチャンスに変えられるような新しい情報・技術を取入れて対応したいと考えています。

農業は、一人ではできません。もちろん家族はもとより、地域との交流、農業者仲間との連携も大事なことだと思えます。これからもよろしくお願ひします。



消費者として

思うこと

篠山 椎名一恵さん

退職してから5年が過ぎ、自家用米と野菜を作る兼業農家の主婦として、3人の孫育てが中心の日々です。

毎日のおやつや食事には、季節が感じられる旬の素材を使うように努めています。

孫達と一緒によもぎを摘んで「草もち」を、筍を掘って「筍ごはん」、青梅を落として「梅ジュース」、いも掘りをして「大学いもやふかしいも」等々。又、お正月やお盆お彼岸、お祭り等、来客がある時には、季節の野菜で天ぷら、混ぜご飯、赤飯、けんちん汁、おいなりさんやのり巻き等昔から伝わる料理を作ってみる楽しんでます。

農家であっても自給自足は無理なので、不足する食品は新鮮で安全な物を値段を考えて購入しています。生産者や栽培方法がわかると安心できます。この地域にも販売所が多くなり、消費者としてはう

紹介農業委員 (相山委員)

季節を通して3人のお孫さんと一緒に自然の中で収穫体験をしながら、食べ物の大切さを伝える食育を実践している椎名さんです。



れしい限りです。

原発の風評被害や輸入食品の問題等厳しい状況で大変でしょうが、農業関係の皆様方には、これからも新鮮で安全な食品を、適正価格で提供してくださいますようお願いいたします。



新任農業委員の紹介

菊田政光委員

(農協推薦の選任委員)



山本委員の後任として、昨年9月3日、菊田政光氏が就任しました。

現在の多様な農業経営に於いて最も大切な農業に関する職務に当たり、その農地が適正に且つ合法的に有効利用されているか、又、地域農業に合った適確な情報や環境条件に合った経営支援、さらには意欲ある担い手の育成等々、豊かで充実した暮らしのためのお手伝いを、農家の為に農業委員としてお役に立てる様努めて参りますので、よろしくお願ひします。

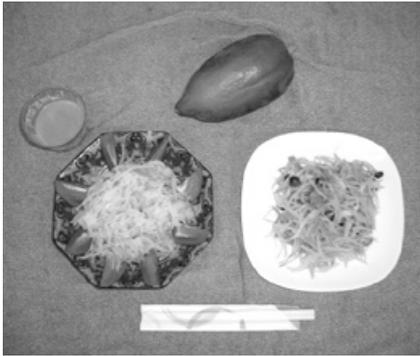




農委だより「13号」にて掲載しました、本州では珍しい「青パイヤ」ですが、苗を購入した農業委員さん宅に実をつけましたので、ご紹介します。

倉持会長宅の青パイヤで、1本の木に大きさが約20cm程のパイヤが約20個実をつけました。1年草ですが、幹の太さは30cmもありました。

青パイヤのその後
料理のレシピ



また、青パイヤを購入された時は、マヨサラダや漬物等いろいろな料理ができると思いますので、チャレンジしてみてください。

パイヤの皮をむき、千切りにする。軽く塩もみ後水洗いし、水切り。ニンジンも千切りにする。鍋に油をしきソーセージを炒めた後、パイヤとニンジンを加え、炒める。塩と醤油で味を調え、出来上がり。

青パイヤ炒めの作り方
(写真左側の料理)

- ・パイヤ 150g
- ・ニンジン 1/2本
- ・ソーセージ 1/2本
- ・しめじ 30g



昨年11月15日、高杉徹常総市長に、平成25年度農業委員会の要望書を手渡ししました。要望書は10月30日の農業委員総会にて協議決定されたもので、内容は委員会活動の予算の確保、農業後継者対策・遊休農地対策及び女性農業委員の登用等です。

市長には、農業行政の要として、農業委員会の活動が円滑に行われるよう農業委員の総意として要望しました。

**常総市長に
要望書を提出**
農委倉持会長・倉金代理
市長応接室にて

平成23年 主要業務実績

農地移動の実態 (1月～12月)

条 項 別	件数	面積(m ²)
3 条	所有権移転	84 244,182
	賃貸借	12 21,140
	使用貸借	22 263,158
	届出	123 753,111
4 条	許可	14 12,179
	届出	5 2,855
5 条	許可	93 92,559
	届出	16 6,630
4・5条制限除外	24	30,103
大臣許可	0	0
18条解約	92	128,029
証 明	非農地証明	4 2,367
	転用事実証明	0 0
	現況証明	10 7,806
農業経営基盤強化	293	1,022,746

平成23年 農用地利用集積事業

(1月～12月)

地 区 別	面積(m ²)	地 区 別	面積(m ²)
水海道	27,845	内守谷	17,994
豊岡	71,511	菅生	52,711
菅原	97,461	大塚戸	6,737
大花羽	74,568	石下	97,325
三妻	50,493	豊田	13,148
五箇	207,754	玉	30,049
大生	156,594	岡田	5,557
坂手	37,064	飯沼	63,471
計		1,010,282	
田畑別面積			
田	769,848 m ²		
畑	240,434 m ²		
計	1,010,282 m ²		



農地パトロール
耕作放棄地の
実態調査を実施

昨年11月19日、常総市内を5班に分け、農地パトロールを実施しました。

今回のパトロールでは、特に集団化している耕作放棄地を重点に巡回し、雑草の種や害虫の飛散等により、周辺農地に悪い影響を及ぼさないか調査しました。

また、耕作放棄地解消支援事業を活用して少しでも耕作放棄地を減らし、農地の有効利用が図れないかなどなど、これからも農村環境の維持に取組んでまいります。

**農業者年金に
加入しましょう**

「年金加入で、農業経営と安心で豊かな老後生活をがっちりサポートしましょう。」

加入資格は20歳以上の60歳未満の方で、国民年金第1号被保険者及び年間60日以上農業に従事している方が対象となります。

農業者年金のメリットですが、配偶者や後継者など家族農業従事者も加入できます。又、意欲ある担い手には保険料助成があります。さらに、保険料は自由に決められ、税制面でも大きな優遇措置があります。

積立方式の安定した制度で、80歳まで保証付きの終身保険です。

詳しくは、最寄りの農業委員または、農業委員会事務局までご連絡ください。後日ご相談にお伺いいたします。

農家訪問

大塚戸町 染谷 武さん

今回は、大塚戸の染谷さんを訪問しました。

染谷さんは常総市内でも数少ない菊花生産者の一人で、ハウス及び露地栽培により250品種余りの菊苗を育てています。

伺った当日は、出荷準備と水やりを行っていました。以前は自動散水装置を利用してたそうですが、ムラがあると変更したそうです。

出荷先は主に東京・埼玉方面で、平均で週150ケースを出荷、ポット苗のほうが必要が多いそうです。時代の流れなのか、新しい品種の栽培に移りしている中、染谷さんの所では40年来の品種や、他人が栽培していない品種も育てており、愛好家には人気があり売れているそうです。

「もう秋かな？」と苗が感じるように日照制限をしたりして盆明けから出荷するそうです。ハウス内には正月出荷

紹介農業委員 (横島委員)

近所で大きく菊花栽培をしている染谷さんを、10月下旬の菊の花が満開のときに訪問しました。



用の苗も随所にたくさん育てていました。

苗作りのポイントは、防虫消毒は当たり前ですが、暑さ対策、だそうです。

今後も、たくさん品種を栽培し、私たちの目を楽しませてください。



農業委員会現地研修会を実施

昨年11月27日水戸市の茨城県農林振興公社を訪ね、農地保有合理化事業等の農地調整事務について視察研修しました。



山本幹男委員が逝去

昨年7月29日山本幹男委員が逝去されました。昭和53年7月農業委員に就任以来13期の永年にわたり地域農業の振興にご尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日

購読料 一ヶ月六百元

申し込みは農業委員会へ